大正５年５月５日木藤精一郎創立

やまゆき会会報

平成 30 年３月号

例　会　報　告

大阪平野：　上町台地社寺巡り（初詣山行）　入門Ｂ

1 月 5 日（金）　小雨　担当:疋田正紀　参加者　25 名

JR 天王寺駅に集合。体験参加者も２名加わる。生憎小雨であるがコース説明と社寺等の概要説明の資料配布後出発する。先ずは安威さん紹介のベルリンの壁を見学後、堀越神社にて初詣をして一心寺へ。大勢の参拝者が訪れている。酒封じの神として信仰を集めている本多出雲守忠朝の墓を参拝後、真田幸村戦死跡碑のある安居神社を経て玉出の滝がある清水寺へ。この境内の崖の上から流れる玉出の滝は大阪市内唯一の滝として知られている。さらに泰聖寺で金龍水を観た後大江神社へ。境内の奥に虎の顔をした狛虎がある。近年、阪神タイガースファンメッカとなり、阪神グッズが供えられている。続いて愛染堂、伝藤原家隆墓を通り生国魂神社へ。ここで原田会長を先頭にやまゆき会として「安全で楽しい山行」を祈願した。会社関係の初詣と思われる背広姿の大勢の参拝者の姿が見受けられた。

小雨の中であるが神社前の公園にて食事。更に、仁徳朝高津宮に擬して、この高台から民のかまどの煙を眺めたという伝承のある高津神社にて休憩。広い道路に面した近松門左衛門墓、真田の抜け穴のある三光神社、千利休屋敷の井戸があった玉造神社を経て、亀井水がある森之宮神社へ。交差点を渡り JR 森之宮駅にて解散。

小雨の中ではあったが予定のコースをゆっくり散策した初詣であった。又、改めていにしえを偲んで大阪を再発見した。

コースタイム

JR天王寺駅(9:45)～堀越神社(10:05)～一心寺(10:20)～安居神社(10:25)～清水寺(10:40)～大江神社(10:50)～勝鬘院(愛染堂)(11:05)～生国魂神社(昼食)(11:35～12:15)～高津神社(12:45)～近松門左衛門墓(13:00)～三光神社(13:35)～玉造神社(13:50)～森之宮神社(14:05)～JR 森之宮駅(14:15)解散

近江盆地：　三上山（432m）　初級Ｃ

1 月 7 日（日）　晴れ　担当:広瀬美紀子　参加者　19 名

湖東に美しい円錐形の山容を見せている三上山。その姿から近江富士と地元の人たちに親しまれています。今回は此処から小さな山を巡る北尾根縦走路の計画を立てましたが、JR

事故のため電車が大幅に遅れ時間のロスになり野洲駅～御上神社～表登山口～三上山～御池～野洲駅の短いコースに変更しての歩きになりました。短いコースでしたが、名物の割石を各自サポートなしで通過。岩場を上がると琵琶湖の景色が一望出来る展望台やメインの近江富士（三上山）が綺麗に見える尾根道。低山ですが、いつ来ても飽きない山です。

コースタイム

JR 野洲駅（10:00）～御上神社（10:46～11:00）～表登山口（11:10）～割岩（11:35）～三上山（12:20～13:00）～中腹分岐（13:56）～御池（14:25）～JR 野洲駅（15:15）

<u>京都東山：裏山道から稲荷山（233m）・阿弥陀ヶ峰（196m豊国廟）</u>　初級 C

1 月 14 日（日）　曇後晴　担当:久保田博已　参加者:31 名

快晴で雲の無い大阪から、山崎天王山を過ぎて京都府に入ると、民家の屋根には残雪があり、四条大橋から見る東山は曇天で積雪が見られ昨年の雪中山行を思い出す。京阪伏見稲荷駅から正面参道に移動して例会予告通り今回の登路について検討した結果、昨年と平成 19 年の当コース例会参加者延 80 名中、初参加の方が 12 名居られた事もあって竹之下道に決定する。全国稲荷神社の総本宮拝殿横から、お山巡りの巡拝者で混雑する千本鳥居参道奥社奉拝所を過ぎた所から右に入ると、一変して雑踏から解放され静かすぎる竹之下道を暫くで伏見神寶神社に着く。昨年は降雪の中で衣服調整に難渋したが今回は積雪も無く良く手入れされた竹林の中に敷かれた歩巾程の石畳の一本道を、弘法の瀧行場から、天正不動明王を祭神とする青木ヶ瀧、七面大天女の七面ノ瀧、須佐大明神鳴瀧、大王岩大神白菊ノ瀧、白砂天大神御劔ノ瀧、白雪大神末廣の瀧と立寄り山頂に向って最奥西面石段を急登。岩壁が御神体の大岩大神では樹間から鳥羽方面の眺望が出来る展望台で小休止し、更に御神体横を急登、稲荷山三角点分岐を左に巡拝者で賑わう伏見稲荷山頂（233m）「末廣大神上之社一の峯」を往復、分岐からは赤ペンキ印に従って稲荷山（三等三角点 239.1m）のある広い頂上で雪解け水と雨垂れを気にしな

がら昼食休憩。

記念写真を撮ってから北に向って尾根筋を下り「孝明天皇後月輪東山陵」と「稲荷山官有地」の柵に沿った間道を薬力大神清滝から三ノ橋川を渡って解脱金剛宝塔参詣者休憩所に立ち寄る。此処からは一週間前には京都七福神巡りで賑わった泉涌寺北入口前を経て西国十五番札所でボケ封じ三十三観音第一番札所の今熊野観音寺に参拝。霊光の碑裏木戸から御寺泉涌寺霊園を通り抜けた所で、鳥戸野陵に至るぬけ道を記憶違いで一時的に難渋したが、陵墓正面に京都タワーが見える参道を圓通寺橋を渡って、今回は万全を期して京都トレイルの途中から、例会最大目的の阿弥陀ヶ峰を正面から登る急な石段を割愛し山腹を巻き乍ら樹林帯の中を山頂に高さ 10mの巨大な五輪石塔が建つ豊国廟に登る。今回は下山も正面直下 565 段の急な石段を見て敬遠の声が多くあり、往路を京都女子大学前バス停に降った所で八坂神社迄の予定コース 1/3 を残して時間切れで断念。解散する。

またまた年齢と体力の衰えを痛感する山行となってしまった。

コースタイム

京阪伏見稲荷駅(9:30)～伏見神寶神社(9:50)～大岩大神(10:50～11:00)～分岐(11:15)～一の峯(11:30)～稲荷山三角点(11:55～12:35)～解脱金剛宝塔休憩所(13:30～13:50)～今熊野観音（14:05）～豊国廟(14:55～15:15)～京都女子大学前バス停(15:35)解散

<u>丹波高原東部　箕面：北摂霊園～開成皇子墓～南山</u>　中級 C

1 月 21 日（日） 晴れ　担当:山田昭則　参加者　25 名

大阪モノレール彩都西駅に 25 名の参加者が集合、今日のコースを説明し出発する。道路を1時間弱歩き善福寺で衣服調整、空は晴れわたってはいないが風がないので歩いておれば寒くなく山歩きを楽しめそうである。

勝尾寺の旧参道をゆっくりペースで登り、勝尾寺手前の下り階段ではなく、右の急下降のルートを下って勝尾寺園地に出る。芝生の広場があるが昼食は次のポイントまで歩くこととし、東の方向へ荒れた林道を進み、箕面の一番東ルートを登り J3鉄塔に着き、穏やかな陽だまりで昼食休憩とする。

短い距離ではあるが急坂を登り東海自然歩道の J4北摂霊園に上がると、ここから開成皇子墓まではなだらかな尾根歩きである。開成皇子墓の手前、ルートにはない南側の急斜面を下るのであるが、ロープが張ってあるので気をつけて下ると勝尾寺の西の端にある大仏様が鎮座している。現在は勝尾寺の境内の外になってしまっている。ここで全員の集合写真を撮る。山

腹を西に歩き自然研究路4号線の F7地点から下降して道路を渡ってしらみ地蔵に向かう。ここから南山北側の急斜面を登る予定であったが、少し疲れている方もおられるし、時間的にも15 時を過ぎているので南側ルートから往復に変更する。南山の三角点にタッチして集合写真を撮って、ウツギ谷を下り 16 時過ぎに外院に下山することが出来、解散とした。

コースタイム

大阪モノレール彩都西駅(9:09)～善福寺(9:57～10:05)～勝尾寺園地(11:28～11:36)～J3鉄塔(12:05～12:35)～J4北摂霊園(12:51)～開成皇子墓(13:21～13:30)～勝尾寺の大仏様(13:55～14:05)～F7分岐(14:30)～しらみ地蔵(14:58～15:03)～南山(15:15～15:20)～外院・解散(16:05)

<u>京都北山： 愛宕山</u> 中級 C

1 月 28 日(日) 曇り 担当:北川弘康 参加者 22 名

大寒波の到来で案じながら阪急嵐山駅に着く。年初めの愛宕山を担当するのは5回目となる。駅前の京都バス嵐山駅前バス停はすでに大勢が行列を作っている。満員で清滝バス停に着く。意外と積雪が少なく安堵する。バス停から混雑を避けて表参道登山口の広場まで移動する。曇っているが天候は安定している。愛宕鉄道ケーブル駅跡地広場で出発前のミーティングを行う。大寒波の到来で参加者が少ないと予想をしていたが、22 名もの参加を確認する。準備運動を行い、表参道から愛宕神社～大杉谷コースを説明、速やかに出発する。登山口に「愛宕さんは月参りの古歌」があり、京都人が大勢参拝した往時が偲ばれる。鳥居からすぐに急登になりゆっくりと進む。小休止を適宜取り、茶屋跡一文字に着く、現在は清滝のバス停前で営業されている。心配した雪は少なく歩きやすい。暫くして、なかや茶屋跡5合休憩所に到着する。積雪も多くなってきたのでアイゼンを装着してもらい出発する。まもなく水尾の分かれ休憩所に到着する。昼まえになったが昼食は神社に着いてからとし、すぐに出発する。ほどなく総門(黒門)から神社の境内に入る。休憩所は混んでおり、各々が別れて昼食とする。

昼食休憩の間に有志のみが神社に参拝する。階段は凍結しておらず安全にお参りを済ませ、神社の階段下で集合写真を撮る。積雪は頂上付近で20㎝程度か、休んでいると冷えてくるので、速やかに出発する。月輪寺方面に下る。積雪が多くなり樹氷が美しい。大杉谷ルートへの分岐から急斜面になり足元に留意して下る。暫く下って道は穏やかになったが、小雪が降り出し、登山道は細く適当な休憩場所もなく、数ヶ所あった休憩ベンチも雪に埋もれて使え

ず、殆ど休まず林道の手前まで下り、積雪も少なくなったのでアイゼンを外す。ほどなく無事林道に出た。林道を気楽に進み、出発した表参道の登山口に到着する。全員の安全を確認し解散する。協力ありがとうございました。各々で清滝のバス停に向かった。有志でバス停前の茶店（旧一文字）で反省会を行った。

コースタイム

清滝バス停（9：10）～表参道登山口・ケーブル駅跡広場（9:20～9:30）～表参道～一文字茶店跡休憩所（10：00）～なかや茶店跡５合休憩所（10：50～11：10）～水尾の分岐（11：40）～総門（黒門）（12：10）～愛宕神社境内休憩所・昼食（12:30～13:00）～大杉谷への分岐（13：10）～（No.4～No.1 ベンチ）～大杉谷登山口（15：00）～表参道登山口（15：20）解散